



## 看護師



# がん化学療法看護認定看護師の仕事

がん化学療法看護認定看護師 柴原 真由子

みなさんは、化学療法という言葉聞いて何を想像しますか？

最近では化学療法という言葉は一般的に「がん」に対する薬剤治療のことを言います。いわゆる抗がん剤治療にあたります。抗がん剤に対するイメージを聞くと、「吐いたり、髪の毛が抜ける」という意見が聞かれます。抗がん剤は、がん細胞に作用する薬剤ですが、どうしても正常な細胞にも影響を与えてしまいます。そのために、気持ち悪くなったり、髪の毛が抜ける等の副作用が起こってしまいます。抗がん剤を行っている患者さんの中には、分子標的薬というお薬を使用する患者さんもみえます。このお薬は、がん細胞めがけて作用します。副作用として皮膚が乾燥したり、ニキビみたいな湿疹がでることもあります。

しかし、副作用については、以前に比べて、予防的にお薬の調整や日常的ケアでや

わらげることができます。髪の毛が抜けることに関しては、全ての抗がん剤治療で抜けるわけではありません。帽子やかつらの使用を日常に取り入れることで、見た目のイメージの変化をカバーすることができます。

最近では抗がん剤治療も、飲み薬と点滴を組み合わせた治療や、飲み薬だけの治療もあります。また、全てではありませんが、外来通院で働きながら治療を行う方もみえます。

そんな抗がん剤治療に対するさまざまな症状、気持ちのつらさがある患者さんやご家族の方のお手伝いをさせていただくのが私の仕事です。抗がん剤治療を続けていくことの不安や困っていることなどがありましたら、いつでもご相談ください。赤いエレベーターの斜め前にある外来化学療法室に声をお掛け下さい。

